

指定障害者支援施設 希望ヶ丘 地域連携推進会議 議事録

開催日時 令和 7 年 10 月 21 日(火) 10 時 00 分～12 時 10 分

開催場所 指定障害者支援施設 希望ヶ丘 2 階会議室

出席者 [地域連携推進員] 利用者、利用者家族、地域の関係者 3 名、
市町村担当者
[施設関係者] 理事長、苑長、事務長、サービス管理責任者

【事務連絡】

開会に先立ち、本地域連携推進会議における以下注意事項を事務長から地域連携推進員にお伝えした。

○会議内で知り得た情報の秘密保持について

既にご記入頂いている参加承諾書にも記載のとおり、本日の会議で知った個人情報等については、外部に漏らすことがないようご配慮頂くこと。

○会議資料について

会議で使用したパンフレット以外の資料については、終了後に回収すること。

○会議の議事録の取扱いについて

会議終了後に議事録を作成し、公表することが義務付けられており、当施設では「社会福祉法人和泉蓮華会障がい部」というホームページを設置しており、こちらにて公表を行うこと。
議事録の内容について、公表前に皆さんの発言の内容について同意をいただくため、後日内容の確認をお願いすること。
また、議事録の公表については、個人情報保護のため、例えば「利用者」や「地域の関係者」など、参加者の所属のみの表記とさせて頂くこと。

【開会挨拶】

定刻に至り、事務長より開会を宣し、理事長及び苑長より開会挨拶がなされた。

【出席者紹介・自己紹介】

事務長より本日の参加者の所属、氏名などが紹介され、地域連携推進員より一言ずつご挨拶を頂いた。

議題 1 地域連携推進会議について

苑長より地域連携推進会議の目的・役割や、地域連携推進員の訪問の際のポイントなどについて、厚生労働省の資料「地域連携推進会議の手引き」に沿って説明がなされた。説明終了後、

事務長「ただいまの説明に基づき、ご意見やご質問はございませんでしょうか。」

と各地域連携推進員に意見等を求めたが特に発言は無く、

事務長「それでは、議題 1 地域連携推進会議については以上となります。」

議題 2 施設等やサービスの透明性・質の確保

苑長及びサービス管理責任者より「提供しているサービスの内容」、「利用者の日常生活の様子」、「経営状況の報告」、「BCP（業務継続計画）の策定状況について」、「地域行事など」について説明がなされた。説明終了後、

事務長「ただいまの説明に基づき、ご意見やご質問はございませんでしょうか。」

と各地域連携推進員に意見等を求めたが特に発言は無く、

事務長「それでは、議題 2 施設等やサービスの透明性・質の確保については以上となります。」

議題 3 施設等と地域との連携

事務長より「障害について」、「近隣からの苦情等の共有」、「地域からのご要望・ご助言など」、「地域行事のご案内」について説明がなされた。説明終了後、

事務長「ただいまの説明に基づき、ご意見やご質問はございませんでしょうか。」

と各地域連携推進員に意見等を求めたが特に発言は無く、

事務長「それでは、議題 3 施設等と地域との連携については以上となります。」

議題 4 利用者の権利擁護

サービス管理責任者より「障がい者の意思決定支援の推進、各委員会等の実施状況について、身体拘束や虐待、事故・ヒヤリハットの報告、成年後見制度について、研修の実施状況や支援事例、支援の質の向上のための仕組み」などについて説明がなされた。

説明終了後、

事務長「ただいまの説明に基づき、ご意見やご質問はございませんでしょうか。」

と各地域連携推進員に意見等を求めたが特に発言は無く、

事務長「それでは、議題４利用者の権利擁護については以上となります。」

事務長「以上で本日予定しておりました議題につきましてはすべて終了致しました。宜しければ皆様よりご意見やご感想など一言ずつ頂戴できればと思います。」

地域関係者「すべての議題興味深く聞かせてもらった中で質問ですが、地域との連携の中で、もし災害が発生した場合、重光区としてできること、求める事など何かありますか？」

苑長「ありがとうございます。希望ヶ丘は福祉避難所として指定を受けておりますが、災害が発生した場合、入所者の皆さんは歩行が不安定であったり、環境の変化が苦手であったりと、希望ヶ丘以外の避難場所に行く事が難しいと想定しております。また、職員についても砥部町だけでなく、松山市や東温市から出勤している職員もあり、災害時にすぐ施設に応援に来ることが出来る職員は少ない可能性が高いです。加えて地域の要配慮者の方を受入れる必要があるため、人員不足となる可能性が高いことが懸念事項です。この為、ご自宅やご家族の安全確保がなされていることが前提ではありますが、地域の皆様に要配慮者の方の手助けなどの応援をして頂ければ、施設としては大変有難いと思います。」

理事長「介護保険でも、火災や地震などの避難訓練の時、地域住民の方との連携を重視しています。火災などが発生した場合迅速に避難する事が重要ですが、一方で避難先でのご利用者の見守りも必要となります。希望ヶ丘も同様ですが、夜間帯は日中の時間よりも職員数が少なく、避難に時間がかかる想定の為、例えば近隣の地域の方に応援を要請し、ご利用者の見守りだけでもお願いできればその分避難誘導に人を割くことが出来る為、今後訓練などにおいても連携をしていければと考えております。

地域関係者「議題にあった行動障害の方などはご自身で様々なルールがあると思いますが、地域の避難者の応援などについては、出来る範囲で協力できればと思います。」

事務長「ありがとうございます。その他ご意見やご質問はございませんでしょうか。」

地域関係者「ヒヤリハットについて、他施設の状況は分かりませんが令和6年度は499件のヒヤリハットがあるとの事でしたが、この数字は多いのでしょうか。」

苑長「入所ご利用者の年齢もまだ若く、コロナ禍前のことにはなりますが、以前は矢取川上流にある農園にて毎日畑の作業を実施しておりました。また、毎月1回はおでかけやお買い物訓練として、外出行事なども企画しておりましたが、施設と違って農園や外出先は路面が未整備の場所もあり、バリアフリーとなっていない場所や、外出先でご利用者が嬉しさのあまり突発的に走り出すこともあったので、ヒヤリハットの件数で言えば数倍はあったのではないかと思います。他の施設の状況は伺っておりませんが、希望ヶ丘では部屋にムカデの発生が見られた場合や、手洗い後に手を拭いていないご利用者が廊下を歩き、床が濡れて滑りやすくなっていた事例などもヒヤリハットとして記録しており、細かく分析出来ているのではないかと思います。先ほどご説明したインリッヒの法則で言えば、重大事故が11件ある中でヒヤリハットは499件のため、研修などを通して更に危険を予測する習慣を身に付ける必要があると考えています。」

地域関係者「よく分かりました。」

事務長「ありがとうございます。その他ご意見やご質問はございませんでしょうか。」

利用者家族「後見人の制度などについて、介護保険とは違い障害福祉サービスは自己負担となっているため、使いにくさもあるのではないかと思います。また、自閉症の方や強度行動障害の方の話も興味深く聞かせて頂きました。」

地域関係者「利用者を真ん中に置いて活動されている事が良く分かりました。」

地域関係者「自宅近くが希望ヶ丘ご利用者の散歩コースになっており、私が外に出ているとき皆さんいつも元気よく挨拶してくれます。今後機会があれば、行事などにも参加させて頂ければと思います。」

市町関係者「地域連携推進会議に初めて参加させて頂きました。施設の取り組みについて初めて知ることも多く、勉強になりました。」

利用者「色々な事を聞かせて頂きありがとうございました。」

事務長「ありがとうございます。その他ご意見やご質問はございませんでしょうか。」
特に発言なく

事務長「皆様、貴重なご意見ありがとうございました。以上をもちまして、令和7年度 指定障害者支援施設 希望ヶ丘の地域連携推進会議を閉会いたします。ありがとうございました。」
と、事務長は12時10分に閉会を宣し、散会した。

その後施設見学に置いて、館内の掲示物やご利用者の活動風景、入所棟及び居室など生活環境の様子をご確認頂いた。